

製品安全データシート



1, 化学物質等及び会社情報

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16
電話番号 03-3270-5426 FAX 番号 03-3270-5418
担当部門 試薬部 担当者 菅野英奇
住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1-6
緊急連絡電話番号 0489-86-6161 FAX 番号 0489-89-2787
作成日 2000 年 11 月 8 日
整理番号 95380
製品名 (容量分析用) 0.5mol/L しゅう酸溶液(1N) 0.5mol/L Oxalic acid solution

2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分 1

化学名：しゅう酸
化学式：C₂H₂O₄
分子量：90.04
CAS No: 144-62-7
含有量：約 4.5 % (45.02g/L)
化審法：2-1551
安衛法：公表

成分 2

化学名：水
化学式：H₂O
CAS No: 7732-18-5
含有量：成分 1 の残量
化審法：局方
安衛法：公表

3, 危険有害性の要約

危険性 危険度を 0~4 の 5 段階で表示
火災 = 0, 人体 = 1, 反応 = 0
最重要危険有害性：火傷
有害性
吸入した場合：火傷
皮膚に触れた場合：火傷
眼に入った場合：火傷、目の傷害
飲み込んだ場合：火傷
発癌物質状態
OSHA(米国労働安全衛生局)：N

NTP(米国国家毒性プログラム):N

IARC(国際がん研究機関(WHO)):N

4, 応急措置

吸入した場合

1. 直ちに新鮮な空気のある場所に移す。暖かくし安静にする。
2. 必要ならば人工呼吸を施す。
3. 医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合

1. 汚染された衣服や靴をぬがせ、石鹼と大量の水で十分(少なくとも15分から20分)洗い流す。

眼に入った場合

1. 水で十分洗い流す(できればコンタクトレンズをはずして)。生理食塩水で病院に輸送するままで洗浄し続ける。
2. 医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合

1. 嘔吐を引き起こさない。
2. 無意識の人に吐き気を起こさせることや飲み物を与えない。頭を横にする。
3. 多量の水やミルクを与える。嘔吐が起きるときは、呼吸を助けるため腰より頭を低くする。
4. 直ちに医師の処置を受ける。

解毒剤

グルコン酸カルシウム; 静脈注射

塩化カルシウム; 静脈注射

医師への注意:

飲み込んだとき胃洗浄を考える。酸素吸入を考慮する。

5, 火災時の措置

火災と爆発危険性: 火災危険性は小さい。

消火剤

ドライケミカル、二酸化炭素、水、水噴霧、通常の泡消火器。

特定の消火方法

1. 危険でなければ容器を安全な場所に移動する。
 2. 火災にさらされた容器は側面から完全に火が消えるまで水をかけて冷す。
 3. 消火水や希釈水の流出による汚染に留意する。
 4. 消火を行う者の保護のために着用する保護具
 5. 防護衣, 空気呼吸器, 循環式酸素呼吸器, ゴム長靴
-

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

1. 危険がなければ、漏出を止めなさい。
2. こぼれた物に触るな。

除去方法

1. 砂か他の不燃物に吸収させる。
 2. 処分のため、適切な容器にこぼれた物を集める。
-

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（取扱い者の暴露防止を施す）

注意事項（局所排気、全体換気）

保管

技術的対策（取扱い者の暴露防止を施す）

安全な容器包装材料（少量の場合ポリエチレン製容器、大量の時ケミカルドラム）

しっかり閉じた容器に保管する。乾燥した暗所に保管する。よく換気している場所に保管する。

8, 暴露防止及び保護措置

暴露を軽減するための設備対策

1. 局所排気設備を設ける。
2. 適用される暴露限界値を守る。

保護具

呼吸器の保護具：正常な条件では必要ないが、頻繁な使用や酷い暴露では必要かもしれない。

手の保護具：必要ないが使用を勧める。耐薬品性手袋、ゴム手袋

目の保護具：ゴーグル、洗眼設備

皮膚及び身体の保護具：必要ないが使用を勧める。耐薬品性衣類、ゴム製衣類

9, 物理的及び化学的性質

物理的状态：液体

外観：澄明

色：無色

臭い：ない

pH：酸性

沸点：100（水）

融点：0（水）

密度(g/cm³): 17.5（化学便覧）

1% 1.0035

3% 1.0132

4% 1.0181

5% 1.0231

溶媒に対する溶解性：アセトン、メタノール、エタノールに可溶

10, 安定性及び反応性

安定性：常温常圧下では安定

避けるべき条件：混触不可物との接触、高温条件、

混触不可物：酸化剤、塩基、

熱分解産物：一酸化炭素、二酸化炭素、ギ酸

11, 有害性情報

腐食性：吸入、皮膚、目、摂取

標的臓器：腎臓

刺激性

ウサギ 皮膚 500mg/24h マイルド

ウサギ 目 250 µg/24h 酷い

ウサギ 目 100mg/4S リンス 酷い

急性毒性

LD50 7500mg/kg 経口 ラット

皮膚に触れた場合

1. 発赤、皮膚熱傷、痛み、水疱。

眼に入った場合

1. 粘膜を刺激して炎症をおこす。

2. 発赤、痛み、眼のかすみ、視力喪失、重度の熱傷。

吸入した場合

1. 神経を侵す。

2. 胃痛、嘔吐、口腔およびのどの炎症をおこし、腎臓が侵される。

3. 鼻やのどの灼熱感、咳、息苦しさ、咽頭痛。

飲み込んだ場合

1. 灼熱感、し眠、咽頭痛、嘔吐、ショック、腰痛。

12, 環境影響情報

分解性、濃縮性

微生物等による分解性が良好と判断される物質。(化審法既存点検)

13, 廃棄上の注意

法律に従って廃棄する。廃棄の専門業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

国連番号：なし

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実にする。

15, 適用法令

安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号):304(しゅう酸)

16, その他の情報

参考文献

STN インターナショナル

化学品安全管理データブック 増補改訂第2版(化学工業日報社)

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。

また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。